



早いもので、2021年もあとわずかとなりました。

皆様にとってどのような1年だったでしょうか？

コロナ禍で私たちの行動制限

は続きましたが、そんな中、東京オリンピックが開催されるなど、少し明るいニュースもありました。

新しい総理大臣が誕生し、政治も経済も明るい方向に向かっていくことを願うばかりです。



さて、来年は「寅年」。寅年は、春が来て根や草が生じ、伸び始める時期であるため、才能や運気が芽吹き、新しい成長が期待できる年といわれています。

年の瀬、例年のごとく心せわしい頃ですが、「今年も頑張ったね」と自身を労わり、元気で新しい年を迎えましょう！

家を建てる段取り (14)

引き続き、家を建てる際に大切な段取りについて書かせていただきます。どんな段階を経て家が完成するのを楽しみながらご理解いただければ幸いです。

【間取り・設計を考える】

家づくりを考える際には多くの時間と労力が必要です。

さまざまな段階がある中で、間取りを考えるのが一番楽しい時間ではないでしょうか。



家族の過ごし方、部屋の配置、水回りやベランダの作り方など自分たちの生活に合わせた暮らしやすく素敵な家を実現したいとは誰もが思うことでしょう。

もちろん、どんなプランも実現可能というわけではなく、予算や土地の形状、建ぺい率や容積率の法的な規制など、さまざまな制約の中で考えなければなりません。その上で、それぞれ家族構成や毎日の生活リズムに合わせて、共有スペースと一人ひとりのスペース、水回りなどに配慮した間取りを考えていきます。

個室は騒音の少ない場所、共有スペースは使いやすい場所に、そしてトイレは皆が行きやすく、キッチンとダイニングは移動しやすくするなど、動きの多いところほど動線を短くしておくとうみやすいでしょう。

モデルハウスなどに行った時には、実際に動いてみて自分の家のプランに反映させてみてください。収納や採光、風通しも大切なポイントです。

多くの制約の中でプランを練るのは大変な作業ですが、それだけに自分らしい家をつくる喜びもあります。又、入居から10年・20年後に家族構成や年齢が変わっていくことも、ある程度考慮しておく必要があります。



バリアフリーにしておくべきか、フリースペースをつくっておくべきかなど、家族の状況をよく考えてみましょう。

次号に続く

「大晦日」

「晦日」はもともと「三十日」と書き、月末日を意味していました。12月31日は、1年の最後の月の最後の日なので「大」がつけられました。1年を締め括り、新年を迎える最も重要な節目の日なので、さまざまな習わしがあります。そのひとつが「年越しそば」です。そばを食べ、細く長く生きられるようにと願いを込めたという説が一般的です。神社では「年越しの祓（はらえ）」が行われます。「夏越しの祓」から半年が過ぎ、7～12月までの罪や汚れをはらうため、形代（かたしろ）を焼き清めたり、茅（ち）の輪くぐりをします。

「除夜の鐘」は、日付が変わる12時を挟んで打ち鳴らすお寺の鐘のこと。怒りや妬みなど心身を惑わす煩惱の数が108あるとされることから、それらを取り除くため、108回つきます。



少し嬉しかった話



今回は、友人の娘さんから聞いた話をご紹介します。

去年の冬、高校受験もラストスパートを迎えた時のことです。

中学の成績は自分ながら自信があったので、志望は進学校にしました。しかし、中学3年生になってから全然成績が上がらない、というか下がる一方。

それは当たり前。受験前なのに1日2時間勉強すればよい方だったから。

さすがに、これではまずいと思い始めて真面目に勉強するようにはなったけれど、やはり始めるのが遅かったため成績が全く上がらない。自業自得だけれど、思い直してからは人並み以上に勉強していたので、「何で成績が上がらないんだろう？ 私なんて・・・」という感じで、もう軽い鬱状態だったのです。

我が家は母子家庭だから、私立校にはなるべく行きたくない。でも成績は上がらない。親は仕事でいつも家にいないし、成績が上がったとしても褒めてくれる人は誰もいない。

こんな状況が続く冬のある日のこと。何だかもう全てがどうでもよくなって、どこの高校でも行ければいい、という気持ちになっていました。

そんな思いをしながら、過去の問題集をコンビニでコピーしていたら、後から入ってきたお姉さんもどうやらコピー機を使うみたい。私のコピーには時間がかかりそうだったので、その人に順番を譲りました。

その後でまたコピーを続けていたら、そのお姉さんが来て、私にチョコレートを出しました。

「えっ？」という感じでボーッとしていたら、「実は、私も今年大学受験なの。あなたは高校受験かな？ 過去の問題集をコピーしていたから勉強しているんだなあって思って。今は、辛いかもしれないけど頑張ってるね。あまり思い詰めないで、たまには休んでもいいんだよ、チョコレートでも食べてさ！」



たったそれだけだったのだけど、何だかすごく嬉しくて。他の人から「頑張ってるね！」なんていわれたのも、そういえば初めてで・・・チョコレートを受け取ってさよならした後、少し涙がこぼれてきました。

その日から、何だか気持ちが変わっていくような気がして私は今まで以上に勉強をしました。

お姉さんのお蔭で、私はもう一度やる気を取り戻せたのです。

そして今は、志望した高校に通っています。

お姉さん、元気かな？

あの時は、本当にありがとうございました。



「編集後記」

年々、一年が早く感じられるのは何故でしょう？

この時期は過ぎた日々を振り返り、今年やると決めたことが出来ていないことに焦り、残りの日でやろうと試みるも、間に合わず・・・反省は例年通りです。

落ち着きを見せたコロナも新種の出現でこころ休まず、昨年引き続き未だ制限のある生活の中、年末を迎えましたが、来年こそ私達の日常が穏やかであるよう願います。

これから、大掃除、年賀状、新年を迎える準備等などすることが山積。

お忙しいこととは思いますが体調管理に気をつけてどうぞ良いお年をお迎えください！

今年もいろいろお世話になり有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

渡辺ハウジング 社員一同